

としょかん だいごう  
図書館だより 第2号

今年の梅雨は、7月も終わろうとしているのにいまだにシトシトと雨が降り続き、野菜の収穫にも悪影響が出ました。また日照時間が少なく、健康上にも不安が広がります。そんなこの時期、皆さんの心も湿っぽくなっていませんか？そんな時にはいろいろな本を読んで気持ちに光と風を与えましょう。  
今回は読書感想文課題図書で紹介と、新着図書からおすすめの本を紹介しします。

どくしょかんそうぶんかだいとしょしょうかい  
読書感想文課題図書の紹介

今年の読書感想文の課題図書は次の12冊です。今年は新型コロナの影響により、読書感想文の取り組みは任意となりましたが、夏休み中の読書活動推進のために、希望者に抽選で貸し出しを行いました。

ほんなまえ 本の名前	たいしょう 対象 がくねん 学年	ないようしょうかい 内容の紹介
やまのちょうじょうの木のてっぺん	1・2年生	やんちゃな「いがらし」と、気弱な「にしやん」は幼稚園からの友だち。ある日元気がないにしやんに、いがらしくんが声をかけると・・・。
おれ、よびだしになる	11	小さい頃から相撲が好きな男の子。なかでもお相撲さんの名前を呼びあげる「よびだしさん」が大好き。相撲部屋を見学した男の子は・・・。
タヌキのきょうしつ	11	広島のある小学校の教室。夜になるとタヌキが集まり勉強を始めます。その様子がやがて町中に知られていきます。のどかな昔話かと思っているとやがて・・・。平和について考えさせられる本です。
ながーい5ふん みじかい5ふん	11	5分という時間がいろいろに感じられる場面が描かれていきます。目に見えないものに対して、？の好奇心を抱くきっかけになる本です。
青いあいつがやってきた！？	3・4年生	「よおっ！」と、突然ぼくの前に現れた全身青いヘンなやつ。転校してきたばかりで友達ができないぼくと、青いあいつとの一日が始まった。
ねこと王さま	11	身の回りのことができない王さまが、町で暮らすことに・・・。のんびりした王さまと王さま慰いのかしこいねこの、ゆかいで楽しい物語。
ポリぶくろ、1まい、すてた	11	20年前、ゴミだらけだったアフリカで、仲間たちと一緒にポリぶくろのリサイクルを始めた女性の伝記絵本。さてそのリサイクルの方法とは・・・。
北極と南極の「へえ～」くらべてわかる地球のこと	11	北極の代表ホッキョクグマと、南極の代表アデリーペンギンが著者と一緒極地のひみつを教えます。地球の今と未来を考えるきっかけになる本。
ヒロシマ 消えたかぞく	5・6年生	愛情あふれる家族の日常写真が語るもの。それは戦争の残酷さだけでなく、何気ない日常こそが大事であり、私たちが平和を作っていくということ。
月と珊瑚	11	沖縄で生まれた少女・珊瑚と、東京から来た転校生・月。珊瑚の日記がつづる、沖縄の「今」を生きる少女たちの友情と将来の夢の物語。
と飛ぶための白歩	11	目の見えないルーチェは誰の力も借りずに生きていこうとします。しかし山登り、人との関わりを通してやがて大人への一歩を踏み出していきます。
かぜを切って走りたい！：夢をかなえるバリアフリー自転車	11	体の不自由な人のための自転車を作る堀田さん。完成までは困難の連続。でもその自転車を必要とする人がいる限り、何度でも立ち上がります。

ほん なまえ  
**本の名前**：ひらがな だいぼうけん

さくしや  
**作者**：宮下すずか/作 みやざきひろかず/絵

しゅっぱんしゃ かいせいしゃ たいしやうがくねん ていがくねんむ  
**出版社**：偕成社 **対象学年**：低学年向け

**おすすめポイント**：『本というものは、ひらきっぱなしにしておく、もじがよなかにおしゃべりをしたり、とびだしたりするのです。こんやも本からものおとがきこえてきました。どうやら「は」のもじがしゃべりはじめたようです。』という書き出しを読んだだけでも、この先何がおこるのかわくわくします。ひらがなたちのおおさわぎがたのしい本です。



ほん なまえ  
**本の名前**：プラスチック プラネット

さくしや  
**作者**：G・A=ブラッドショー/作 おおやま いずみ やく

しゅっぱんしゃ ひやうろんしゃ たいしやうがくねん ちゆう こうがくねんむ  
**出版社**：評論社 **対象学年**：中・高学年向け

**おすすめポイント**：今、プラスチックが地球をおおっている という副題が示す通り、今の地球環境に深刻な悪影響を及ぼしていることが問題になっているプラスチックですが、はじめてこの世に現れてからまだ200年もたっていません。地球の歴史からみればまだ生まれたばかりです。しかも、それは人間が自分たちの暮らしを楽にするために作りだした物です。たった1本のプラスチックボトルが分解するまでに450年もかかることがわかったのはわずか数十年前。この本にはプラスチック問題のすべてがわかりやすく書かれています。



ほん なまえ うみ み える おか えほんばん  
**本の名前**：海の見える丘 (絵本版)

さくしや  
**作者**：くすのき しげのり/作 古山 拓/絵

しゅっぱんしゃ ほん わかい たいしやうがくねん こうがくねんむ  
**出版社**：星の環会 **対象学年**：中・高学年向け

**おすすめポイント**：山間の小さな町に絵の具とキャンバスをかかえた男が移り住んだ。その男は町の人々の暮らしを手伝い、やがてみんなに慕われ、「キャプテン」と呼ばれるようになった。けんかをしている夫婦や、楽しい話をせがむ子どもたちや、病気になった身よりのない男の面倒を見ては、その見返りにその家の屋根や壁を好みに塗らせてほしいと申し出ました。男はそうして毎日を過ごしました。やがて男は牧場主の手伝いを最後に病に倒れ、牧場主に、「おれが死んだら、おれの墓は町外れの丘の上にしてくれないか。」と言葉を残し息を引き取ります。葬儀を終えて町の人々は長い列をなし、墓をつくるために丘へと続く道を歩き、森をぬけ、明るい日ざしがそそぐ丘の上に着いたとき、人々は「あっ！」と息をのみました。そこには……。これぞ、くすのき節の真骨頂といえる大人のために書き下ろした絵本です。ぜひ一読を。



今年は新型コロナの影響で、1年生は学校司書とほとんど顔を合わせることがない中で図書の授業が始まりました。でも、1年生の担任の先生方が読書の楽しさを子どもたちに常々お話ししていただいたおかげで、子どもたちはすんなり図書の授業を受け入れてくれたようです。

そんな中、1年生のKくんが図書館にくるたびに手にする本があります。その本の題名は「子どもの哲学」。ある日私はKくんに「その本わかるの？」と失礼にも聞いてしまいました。するとKくんはこう言ったのです。「わからなくてもいいんだよ。」と。なんとも哲学的な答えでした。本ってすばらしい。

どうぞ、楽しい夏休みをお過ごしください。ではまた、次号でお会いしましょう。